

あかつかやま

2012 年 8 月 No. 40



カブトムシとノコギリクワガタ

CONTENTS

・ 特	集	第 39 回赤塚山公園セミナー	安原健允	2	
・ 報	告	夏休みのイベント ・ 新しく仲間入りしました		4	
・ イ	ベ	ン	ト	ワクワク工房	6

特集

第39回赤塚山公園セミナー「生き物たちのエコロジー」

7月21日(土) 午後1時30分～3時

安原健允名誉館長が、生き物のエコロジーについて講義しました。



参加した皆さんは、熱心に名誉館長の話に耳を傾けていました。

今回の特集はその要旨をご紹介します。

ぎょぎょランド名誉館長 安原健允

はじめに

“生き物たち”^{い もの}生き物とは？どんな物なのでしょう
か？これを“生物”^{せいぶつ}と言うとややはっきりしてきます。
そして、生きている物。生きていること。生きていた
物。生きていたこと。などと話を広げると少しずつ具
体的になってきます。現在、地球上にはどのくらい
の種類と数の生物が住んでいるのでしょうか。いつ
頃から、どこから、どのようにしてそれぞれの大陸や
地域に住むようになったのでしょうか。そう考えると
解らないことばかりです。

今回の赤塚山公園セミナーでは「生き物たちのエ
コロジー」として、生物が住んでいる地球と生物、生
物とエコ(環境)について皆さんと考えました。

I. 地球ができて、現在のような姿になるまで。

地球は、46 億年前に出来たとされています。宇宙
を漂っている無数の星屑(星雲)がぶつかり合って、
その際に出るエネルギーが星屑を溶かして塊を造
り、その塊は次第に大きくなって地球になったと考
えられています。さらに地球は、マグマのようなど
ろに溶けた物質になり、重い物質は中心に沈み、
軽い物質は浮き上がって表面の地殻になった、と考
えられています。その頃の太陽は原始太陽と呼ば
れ、すでに存在していたものと考えられています。
この説は乱流説と呼ばれています。その後、原始の
海洋が出来、原始の大気に含まれていたとされるア

ンモニア、メタン、水、水素などが雷の発生する電気
(稲光)によって化学反応を起こし、精製された物質
は原始の海洋に蓄積され次第に分子の大きな物質、
特に糖、脂質、アミノ酸、タンパク質、核酸などにな
って、今から20 億年くらい前には酸素を吸収して二
酸化炭素を放出する従属栄養生物の原型が、さら
に10 億年くらい前にはこの二酸化炭素を吸収して
酸素を放出する独立栄養生物(動物)の原型が出来
たとされています。その後、5 億年位前の古生代の
はじめには、原始的な形の三葉虫、甲殻類、環形動
物などが生まれたとされています。



Ⅱ. 地球に、現在のような生き物たちがどのようにして住むようになったか。

生物が生まれ、住むようになってからの地球は、大きな島が集まったり離れたりしながら現在のような大陸と海洋が出来ました。この考えを大陸移動説と呼んでいます。

2 億年前、古生代の終わり頃はパンゲアと呼ばれる大きな大陸となり、1 億8 千万年前には大陸が北にローラシア、南にゴンドワナと呼ばれる二つの大陸になっていました。その後、ローラシアからはユーラシア大陸、北アメリカ大陸が、ゴンドワナからは南アメリカ大陸、アフリカ大陸、インド、オーストラリア、南極等が出来たとされています。この頃、中生代になると生物は爆発的に進化を遂げ、恐竜などのは虫類、魚類、昆虫類が生まれました。恐竜の時代、白亜紀が終わり、1 億年前には、原始のほ乳類が生まれました。

6 千万年前の大陸は、ほぼ現在のような位置になりました。新生代と呼ばれる時代です。ほ乳類の時代で、海には鯨類が、陸にはサル、ウマ、ゾウ、有袋類などが生まれました。

Ⅲ. 地球上に住んでいる生き物たちは、どこでどのような生き方をしているのか。

世界の大きな大陸は、長い時間をかけて現在の位置に定着しました。これまでの間に陸続きだった地域や大陸も有ります。同じ地域に住んでいたのに、大陸が分かれて移動してしまったことから、同じ種類でも長い間の環境の違いから、それぞれ独立して進化した種類もあります。現在、別の大陸に住んでいるので異なった種類とされていた動物が、化石からかつては同じ種類であったと言うこともあります。化石では一つの種でも、既にその種は大きく体の構造が変わっていたり、体の中の特徴が一部分同じという動物もいます。例えば、我が国の相模湾で漁獲されたサメの仲間「ラブカ」は、口が頭の前方にあり鰓穴の数が6 対で、祖先が3 億数千万年前のクラドセラケであることが証明されました。

古生代から白亜紀に化石として残っているシーラカンズは、生きている化石(原生種・ラチメリア)として希少な種類です。

世界の大陸に棲んでいる動物は、長い時間をかけて移動しながらそれぞれの大陸で特徴的な進化

をしました。世界の動物分布区系は、大きく分けると次の6 つになります。

世界の動物分布区系

動物分布区系＝ 大陸 ・ 固有の動物
旧北区＝主にユーラシア大陸・キジ類、モグラ類、フタコブラクダ、ヒグマなど

新北區＝北アメリカ大陸・アライグマ、シチメンチョウ、ビーバー、ガラガラヘビ

エチオピア区＝主にアフリカ大陸・シロサイ、クロサイ、アフリカゾウ、キリン、シマウマ、ゴリラ、チンパンジー、ダチョウなど

東洋区＝アジア地域・コブラ、メガネザル、オランウータン、テナガザル、マレーバク、センザンコウ、クジャクなど

オーストラリア区＝オーストラリア大陸、ニュージーランドニューギニアなど・カンガルー、ハリモグラ、カモノハシ、ヒクイドリ、キウイ、フウチョウなど

新熱帯区＝南アメリカ大陸・リスザル、クモザル、オオアリクイ、ナマケモノ、ラマ、アルマジロ、コンドル、コンゴウインコなど

おわりに

生き物たちのエコロジー、エコロジー(ecology)とは、ECO＝住む・棲む、住むところ・住・住居、生活環境・自然環境など、生物が住むことのできる場、住むところの問題などの内容が含まれています。人と人・男と女、雄と雌・♂と♀、同じ種類どうし、と、違う種類。同じ種類は、繁殖、家族を。異なった種類は、食べたり食べられたりする関係(食物連鎖)などと、生物同士の問題も複雑です。生態学は、ECO＋LOGY(ecology)。生態、ECO＋SYSTEM(ecosystem)。また、ECO＋NOMY(economy)は経済学と訳しています。logy と nomy は同じ意味の言葉の同義語、同意語といわれています。

自然環境や生活環境の保護保全は、他の生き物たちに対するだけでなく、私たちの問題として、真剣に考えなくてはならないと思います。地球温暖化、化石燃料の枯渇、原子力発電の問題。再生可能なエネルギー。どれも人間を含んだ生き物たちの問題で、環境、すなわち、エコ・ECO・・・なのです。足下に生えている名もない草花にも目を向けて欲しいものです。これが、私たちが出来る最大の「生き物たちへのエコロジー」だと思います。

報告

夏休みのイベント



サマースクール 一日飼育員～生き物の看板を作ってみよう～

7月25日、8月1、8日 すべて水曜日
各日とも午後1時15分から3時30分

7月25日、8月1日は小学校1～3年生、8月8日は小学校4～6年生の参加者が一日飼育員になって看板作りに挑戦しました。この看板は夏休み期間中展示しますので、ぜひご覧ください。



1日目

ニホンイシガメ
アメリカザリガニ
ニワトリ

2日目

ピラニア
ミニブタ
フェレット



3日目

レッドテールキャット
ヤギ
ウサギ

ぎょぎょランドバックヤード見学

7月、8月の毎週月曜日 午後2時30分から3時

普段、見ることのできないバックヤードに入り、展示水槽の裏側や飼育員室を見学しました。



生き物たちとのふれあい



カブトムシ・クワガタムシのふれあい

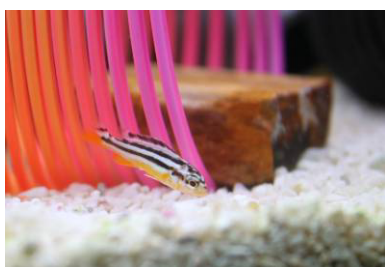
： 毎日 午前11時30分から11時45分
 ヤギのふれあい： 土・日 午後1時30分から2時
 コイのえさやり： 土・日 午後2時から2時15分

生き物とふれあって夏休みの思い出ができたかな？



特別展示「さかなのほいくえん」

7月19日(木)～9月3日(月)



ぎょぎょランドで生まれた魚のこどもを展示しました。



★ **新しく仲間入りしました!**



7月9日(月)に静岡市立日本平動物園から2頭のヤギが仲間入りしました。それに伴い、7月11日(水)～7月29日(日)の期間、名前を募集したところ、総数755通というたくさんの応募をしていただきました。その中から2頭の名前を決定しましたので、ご報告します。ぜひ『ハク』ちゃんと『チャチャ』くんに会いに来て下さいね。たくさんのご応募ありがとうございました。



★ **「ハク」くん**

わんぱくな男の子
 2012年4月生まれ



★ **「チャチャ」くん**

人なつこい男の子
 2012年4月生まれ

よろしく
 メエ～

イベント

ワクワク工房 「かんたんなおりがみ」

日時：2012年9月22日（土）午後1時～3時15分

1回目 午後1時～1時45分

2回目 午後1時45分～2時30分

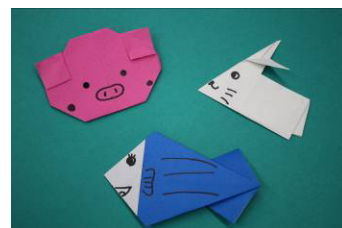
3回目 午後2時30分～3時15分

場所：ぎょぎょランド2階創造の部屋

内容：おりがみで、赤塚山公園で観察できる生き物を折ります。

定員：各回40人

当日午後1時からぎょぎょランド2階創造の部屋で先着順に受け付けます。



行事・イベントの報告

平成24(2012)年 6月～平成24(2012)年 7月

6/1 東海日日新聞 花しょうぶ園取材
6/6～6/18 企画展「田んぼのエビたち」
6/7 中日新聞ミニブタ取材
6/9・10 花しょうぶまつり物産展
6/15 豊川市立八南小学校
社会見学32人
6/16・17 梅ジュース作り20人・26人参加
6/20～7/16 おりがみ展「おりがみの赤塚山公園」
6/21 展示生物採捕 新城市
6/29 豊川市立御津北部小学校4年生
ウサギの出前授業
7/8 Pitch FM 取材
7/9 静岡市立日本平動物園から
ヤギ2頭搬入(寄贈)

7/11 中日新聞 こども weekly
ミニブタの取材
7/11～7/30 子ヤギ名前募集
7/19～9/3 特別展示「さかなのほいくえん」
7/21 第39回赤塚山公園セミナー
「生き物たちのエコロジー」
29人参加
7/23 豊川市立音羽中学校1年生
2人 インタビュー
7/23・30 バックヤード見学
7/25 サマースクール第1回
7/26 豊川市立音羽中学校1年生
1人 インタビュー

編集後記

表紙写真のカブトムシとノコギリクワガタは赤塚山公園で採集したものです。赤塚山公園には、昆虫が集まるクヌギやコナラの木がたくさんあります。カブトムシは、子供たちに大人気の昆虫ですので、この夏休みに、毎日、カブトムシの絵本の読み聞かせとカブトムシのふれあいを行うことにしました。今では、なかなかカブトムシを捕まえることができないようで、子供もそうですが、親御さんからの質問もたくさんありました。

前田民男

動物取扱業に関する表示

氏名又は名称：豊川市長 山崎 実 登録番号：動第119号
事業所の名称：豊川市赤塚山公園 登録年月日：平成18年9月28日
事業所の所在地：愛知県豊川市市田町東堤上1-30 有効期間の末日：平成28年9月27日
動物取扱業の種別：展示 動物取扱責任者：前田 民男

編集・発行

あかつかやま No. 40 2012/8/15
豊川市赤塚山公園
〒442-0862 豊川市市田町東堤上1-30
TEL(0533)89-8891 FAX(0533)89-8892

次号は 10月15日発行です。